



## ナンブーラ州市民社会プラットフォーム 公式声明【日本語訳】

ナンブーラ州市民社会プラットフォーム（PPOSC-N）は、市民社会組織（CSO）のイニシアティブ調整メカニズムとして各セクターやテーマ別のネットワークを統合する形で、2009年に設立された。その目的は、官民両セクターのパートナーとのコミュニケーションを容易にし、本州における開発のイニシアティブを達成することである。

ナカラ回廊地域での農業開発を目指した ProSAVANA 事業の実施は、PPOSC-N の「天然資源・農業ネットワーク」および「ガバナンス・ネットワーク」に反響を巻き起こしてきた。PPOSC-N は、最近の同事業にみられる実施ダイナミズム、そして州の農業セクター（行政）関係者による各種の声明といった一連の動きを踏まえ、以下の立場を明確に表明する。なお、これらの声明とは、国営放送 TVM（2013年9月17日20時30分放送、2013年9月18日の早朝に再放送）の ProSAVANA 事業の実施戦略に関するインタビュー/討論（番組）において、農業省ナンブーラ州局長並びに ProSAVANA フォーカル・ポイントによってなされた、本州の市民社会の関与についてのものであり、同討論には UGC ナンブーラ支部のコーディネーターも参加した。

- a) 我々は、ProSAVANA 事業に（合意し）調印した国家と政府の長に宛てた「ProSAVANA 事業の停止と再考を要請する公開書簡（Carta Aberta Para Deter e Reflectir o ProSAVANA）」が PPOSC-N のアジェンダの根幹部分を成していることについて再度確認した。同書簡は、ProSAVANA 事業の停止と再考、そして家族セクター農業支援へのアプローチの変更を訴えるものであり、我々は依然としてモザンビーク政府からの書簡への回答を待っている状態にある。
- b) PPOSC-N、とりわけ公開書簡に署名した市民社会諸組織は、少なくとも現在まで証明されてきた限りにおいて、ProSAVANA 事業が農民男女の利益を擁護する方向で、家族農業を促進するプログラムであるとは認めない。むしろ、農民らの生活を悪化させるものであると、この間みてきた。

- c) PPOSC-N は、「全国農民同盟 (União Nacional dos Camponeses : UNAC)」にモザンビークの農民男女を代表し代弁する正当性があることを認める。なぜなら、UNAC は、農民たちの利益を守るための全国でもっとも広範な組織であり、全州に支部が存在するからである。ナンブーラ州には、各郡に農民男女によるアソシエーションのフォーラムやユニオンがあるが、UNAC に加盟していてもいなくても、農民の利益を代表するという意味においてそれぞれの組織は正当性を擁している。UNAC は、モザンビークにおける農業の発展に関する政策、(国家) 戦略、行動に関する討論において、不可欠な組織である。
- d) 公開書簡に署名したナンブーラの市民社会諸組織は、農民の利益と権利を守るための闘いにおいて、UNAC と各郡のフォーラムやユニオンと共にある。この観点から、これら諸組織は、個別的あるいはグローバルな利権のためになされる工作の試みを告発し、そのような工作が農民たちに対して行われることがないように、助言し、監督し、番人となる正義を有す。
- e) PPOSC-N が、州レベルの農業セクターの代表(政府)との対話を開いた理由は、家族セクター農業の強化に向けた政府のポジションをよりよく理解するためであった。しかし、現在まで、ProSAVANA 関係者あるいはナンブーラ州農業局 (DPA) と PPOSC-N の間において、ProSAVANA 事業を議論するための「技術審議会(*Conselho Técnico*)」なるものは一つたりとも設置されていない。したがって、DPA / ProSAVANA と PPOSC-N の間では、何の調印された取り決めも存在しない。既に行われた会議の議事録が、両者によってサインされただけである。これまで PPOSC-N は、農村と家族農業の発展のための監視に関わる側面を議論し、(関係者らとの) 関係の在り方のルールを構築するために、これらの会議に参加してきた。そして、将来において議論すべきポイントについて合意しようとしたが、それは未だ起こっていない。
- f) PPOSC-N は、ProSAVANA 推進者らによって進められてきた、モザンビーク市民社会に対する分断、分裂化、弱体化の試みに表される各種の工作活動と脅迫について、遺憾の意を表明する。8月28日および29日にリシंगा市(ニアサ州)で開催された UNAC の北部地域会議 (Conferência Regional Norte) には、ProSAVANA 推進者らも招待されたが、彼らは同会議への参加以外の目的を推進しようとした。つまり彼らは、いくつかの市民社会組織との会議を (UNAC 北部地域会議と) 30日に平行に開き、そこで ProSAVANA 事業を議論するためのニアサ州フォーカル・ポイントにこのグループがなることを合意すると議事録にサインするよう、出席者らに求めた。しかしながら、先に行われた会議 (UNAC 北部地域会議) において、UNAC のメンバーである農民男女は、

何度も ProSAVANA 事業のアプローチに合意しないとの意思を表明し、公開書簡が求めるプロサバナ事業の緊急停止と再考を求めたのである。

- g) 前述ポイントと同様の観点において、PPOSC-N は、JICA（日本の国際協力）が、時に技術者として、時に外交官として、時に相談役として果たす不明瞭で不透明な役割の一方で、我々が目にしてきたように、ProSAVANA ナショナル・チームとの関係においてリーダー的な役割を果たしていることを遺憾に思う。そして議論の重要な局面において、個別の動きとして装われ、指導力が発揮されるシニア相談役による役割についても遺憾の意を表明する。
- h) PPOSC-N は現在でも、農村開発や家族農業に対する新しいアプローチに関する国のリーダーシップに焦点を当てた議論の最善の方策は**対話**であると信じている。しかしながら、このテーマ（ProSAVANA）に関し、農民組織や市民社会組織の分断や工作の試みが継続する限り、農民男女の憲法に基づく諸権利を意味のあるものにしていくためには、別の種類の方策を検討しなければならない状況に我々を導くであろう。
- i) PPOSC-N は、モザンビーク農業、農村生活のすべての過程において、女性が果たす重要な役割を認識する。そのため、農業政策や農村を対象としたプログラムにおいて、女性は特別に考慮されなければならない。

ナンプーラ市にて 2013 年 9 月 30 日

ナンプーラ州市民社会プラットフォーム 声明文

*Travessa da Rua nº1065 – Bairro dos Poetas*

*Email: [pposc.nampula@gmail.com](mailto:pposc.nampula@gmail.com)*

*Tel: + 258 26218541; + 258 826061426*

*Fax: + 258 26218638*

*Nampula*